



## 便利な一体型

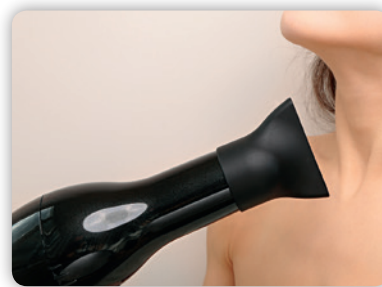
高精度・多チャンネル解析の為の  
機能的な“単体モジュール”システム

# labCOMPACT12

labCOMPACT12はコントローラーと多チャンネル・モジュールの基本機能を一体化したコンパクトでシンプルなHEADlabシステムです。“単体モジュール”技術は特に家電製品や事務機器の開発において多チャンネル解析ができる機動的でお手頃なソリューションです。

この12チャンネルのLine/ICP®モジュールはチャンネルごとにハイパス・フィルタを搭載したオプションもあります。センサーはフロント面のD-Subコネクターに接続します。アナログ入力12チャンネル時は最大48 kHz、6チャンネル時は最大96 kHzのサンプリング・レートで動作します。高い位相精度、24ビット・データ、107 dB(A)のS/N比と優れた性能を誇るハンディー型モジュールです。

システム拡張の際は、HEADlinkインターフェイスにより簡単にHEADlabモジュールを追加できます。SYNCコネクターを用いてlabCOMPACT12と他のHEADlabシステムの同期接続も可能です。また、USBまたはLANでラップトップPCやデスクトップPCと直接接続しセキュアで安定的なデータ伝送が可能です。ArtemiS SUITEのソフトウェア・モジュール、HEAD Recorderを用いて設定及び操作を行います。



## labCOMPACT12 - フィーチャー

コンパクトかつ静粛なHEADlabシステム  
12 Line-/ICP®チャンネル

D-Sub 25ピン・ブレイクアウト・ケーブル  
で6つのBNC端子にセンサーを接続

サンプリング周波数最高48 kHz  
(6チャンネルの場合96 kHz)

周波数レンジ0 Hz~20 kHz

AC、DC、ICP®(4 mA)切替え可能

TEDSセンサーのIEEE 1451.4への接続  
クラス1、共有信号線

S/N比107 dB(A)

USB 或いはLANによるPC接続

アナログ・ハイパス・フィルタ:  
ACモードで2.5 Hz、22 Hz、チャンネル  
ごとに切替え可

HEADlinkによりHEADlabモジュールの拡張可

簡単なSYNC接続による  
HEADlabシステムの複数接続

信号入力端子間、PC接続、電源はすべて絶縁対応

電源ボックスlabPWR或いは電源ユニット  
による電源供給、消費電力約12 W

実績あるロック機構を採用したHEADlabの筐体

詳細についてはQRコードをスキャンしてください!

[www.frontend.systems/labcompact](http://www.frontend.systems/labcompact)

